教　育　レ　ポ　ー　ト

2022（令和 4）年度

好きをスキルに、その先へ。

広島工業大学専門学校

第４章　教育活動

４－１　教育活動重点項目への取組みとその結果

（1）資格取得目標と結果

［全学科共通］

資　格　名		合格者数
日本語ワープロ検定	３級	56
	準２級	22
	２級	21
	準１級	3
	１級	1
	初段	1
情報処理技能検定（表計算）	３級	47
	準２級	19
	２級	20
	準１級	9
	１級	8

［建築系］

資　格　名		合格者数
２級建築士		23
２級建築施工管理技術検定		20
インテリアコーディネーター		3
リフォームスタイリスト	１級	3
	２級	5
	３級	7
リビングスタイリスト	２級	2
福祉住環境コーディネーター	３級	4

［機械系］

資　格　名		合格者数
技能検定・機械加工　２級	普通旋盤作業	1
技能検定　機械加工　３級	普通旋盤作業	13
	フライス盤作業	1
	マシニングセンタ作業	2
技能検定　機械・プラント製図　３級	機械製図 CAD 作業	1

［電気系］

資　格　名		合格者数
電気工事士	第一種	8
	第二種	12
電気工事施工管理技術検定	２級	15
電気主任技術者	第三種	1

［土木系］

資　格　名		合格者数
測量士補		6
土木施工管理技術検定	2 級	19
ビオトープ施工管理士	2 級	4
ビオトープ計画管理士	2 級	1
無人航空従事者	2 級	2
	3 級	22
基礎技能（ドローン操縦士）		20

［情報系］

資　格　名		合格者数
情報処理技術者試験	応用情報技術者	3
	基本情報技術者	8
	情報セキュリティマネジメント	1
（J 検）情報システム試験	基本スキル	26
ビジネス能力認定試験（ジョブパス）	3 級	10

［音響・映像系］

資　格　名		合格者数
映像音響処理技術者資格認定試験		26
舞台機構調整技能検定	3 級	6

（2）インターンシップの参加状況

学科・系	会　社　名	業　種	人数
機　械 5 人	㈱キーレックス	自動車部分品製造	1
	本瓦造船㈱	鋼船製造・修理	1
	萬国製針㈱	針・ホック等製造	1
	広島アルミニウム工業㈱	自動車内燃機関製造	1
	大之木建設㈱	一般土木建築工事業	1
電　気 39 人	㈱電力サポート中国	産業用電気機器卸	3
	中央電設㈱	一般電気工事業	1
	㈱中電工	一般電気工事業	8
	コベルコ建機㈱	建設・鉱山機械製造	1
	下花建設㈱	電気通信工事業	4
	内外工業㈱	木工機械製造	1
	㈱高野電気商会	電気配線工事業	1
	森電設㈱	一般電気工事業	1
	星光電機	一般電気工事業	1
	㈱タダノ	建設機械製造業	1
	㈱レグザム	一般電気工事業	1
	㈱富士クリーン	産業廃棄物処理業	1
	㈱明日香コンサルタント	建設コンサルタント業	1
	NTT アノードエナジー㈱	構築保守ｵﾍﾟﾚｰｼｮﾝ業	2
	きんでん西日本サービス㈱	電気・消防設備工事業	1

	徳寿工業㈱	電気総合建設業	1
	西日本高速道路エンジニアリング四国㈱	高速道路維持管理業	1
	旭日電気工業㈱	総合電気工事業	1
	大栄電業㈱	一般電気工事業	1
	㈱ベリポリエステルプロダクツ	樹脂製造業	1
	大亜工業㈱	総合電気工事業	1
	㈱ケーネス	電気・通信工事業	1
	宇部工業㈱	土木工事業	1
	㈱ネット・エックス	電気通信工事業	1
	㈱立芝	情報通信工事業	1
	㈱中電工エレテック	一般電気工事業	1
情報 1人	㈱アドバンステクノロジー	ソフト受託開発	1
土木 14人	合田産業㈱	建設石材窯業製品卸	1
	㈱工栄	測量設計	2
	㈱エフ・ケー・シー	測量設計	1
	㈲セクトコンサルタント	土木建築サービス	3
	大之木建設㈱	一般土木建築工事業	1
	山陽建設㈱	一般土木建築工事業	3
	大政建設工業㈱	土木工事業	1
	㈱ミヤケン	土工・コンクリ工事	1
	河井建設工業㈱	一般土木建築工事業	1
建築 35人	㈱鴻治組	一般土木建築工事業	1
	㈱共栄店舗	建築工事業	1
	㈱イワキ	木造建築工事業	1
	住友林業㈱	木造建築工事業	1
	㈱アキュラホーム	木造建築工事業	1
	㈱大成建設	建設業	1
	㈱清水工務店	木造建築工事業	1
	㈱山根木材	木造建築工事業	1
	㈱クラージュプラス	家具小売	1
	㈱サンテック	建設業	1
	㈱大末建設	建設業	1
	㈱マエダハウジング	木造建築工事業	3
	㈱大鉄工業	建設業	1
	㈱タカラレーベン	建物売買業	1
	㈱マルニアステリア	内装工事業	1
	㈱アイダ設計	木造建築工事業	2
	㈱NSE	建設業	1
	㈱下岸建設	建築工事業	5
	㈱三和鉄構建設	建築工事業	4
	㈱大木建設	一般土木建築工事業	3
	㈱池下設計	建設業	2
	㈱en カンパニー	建設業	1
音響・映像メディア	㈱TSS プロダクション	音響・映像・照明	2
	㈱フルライト	音響・映像・照明	1

７人	㈲中国映像センター	音 響 ・ 映 像 ・ 照 明	1
	三原市芸術文化センター	音 響 ・ 映 像 ・ 照 明	2
	㈱シュリッツ	音 響 ・ 映 像 ・ 照 明	1
		インターンシップ参加人数　総計	101

４－２　人間力を高める各種行事の取組み

（1）令和４年度オリゼミ

1）概　要

① 目　的

・学校生活のルールを徹底する。
・学校の学習目的と内容について理解を深める。
・学生と教員の交流を行い、コミュニケーションのとれる人間関係をつくる。
・学生同士の交流を行い、理解を深め、真の友人をつくる。

② 日　程・場　所：広島工業大学専門学校・広島工業大学沼田校舎

学　　科	日　　程	開　始	場　所	人数
全　　学　　科	４月５日（火）	9:00	専門学校	249
建 築 ・ 土 木 ・ 機 械	４月６日（水）	9:00	沼田校舎	137
情 報 系 ・ 電 気 ・ 音 響 映 像	４月７日（木）	9:00	沼田校舎	112

③ 参加教職員・参加学生数・欠席人数（新入生）

系・学科	参加学生数	指導学生	欠席人数（新入生）
電　気	31	2	0
機　械	27	2	0
建　築	82	4	1(公欠)
音響・映像	39	4	0
土　木	27	2	1
IT・情報	43	3	0

2）成　果

① 入学早期に建学の精神、教育方針の確認を行うことにより、今後の学習意欲の向上につながった。
② 学科での特色や目標資格などの詳細を学科別のオリエンテーションで実施することにより、学校生活における目的意識を確認することができた。
③ 学生同士のコミュニケーションの構築や友達づくりの場として、去年と同様に二日目に沼田校舎を活用することにより、より効果的となった。

3）次年度の課題

①引き続き、コロナ禍での安全な実施を模索していく。
②最終人数（留年・復学も含む）が最後まで変動するので、沼田校舎との連絡を確実に行う。

（2）令和４年 体育祭

1）概　要

① 目　的：日頃、勉学や就職活動などで多忙な学生達が思う存分に体を動かし、楽しみ、心身ともにリフレッシュし、学校生活をより充実させることを目的とする。

② 日　時：令和４年６月１５日（水）9：20～13：20

③ 場　所：広島県立総合体育館大アリーナ（広島グリーンアリーナ）

④ 天　候：曇り

⑤ 出席率：90.8%（前回令和２年度 86.4%）

2）成　果

① 在学生全員が参加するイベントの一つであり、学生にとって集団行動を学ぶ良い機会となった。

② 学友会が積極的に関わることで、学生同士の協調が図られ、クラスが一体となることができ、各競技が盛り上がった。

③ 学生･教職員が一致団結して準備･撤収等を行い､スケジュールどおり順調に進めることができた。

④ 安全には十分配慮を行い、大きな事故もなく実施することができた。

3）課　題

①引き続き、コロナ禍での安全な実施・競技を模索していく。

（3）令和４年 専門祭

1）概　要

令和４年 11 月 26 日（土）に、令和４年 広島工業大学専門学校 専門祭を開催した。新型コロナ感染症の予防の観点から、来場者を保護者・家族のみに制限し、模擬店もフリマのみとし、規模を縮小して開催した。校内には、「作品展示」「体験実習」のブースを設け、日頃の学習成果を披露した。また、学友会がネット配信で開会式やクラスＰＲ大会を行い、お菓子のつかみ取りスタンプラリーを実施した。その他、フリマの利益や皆様からの募金は、「日本赤十字社 広島県支部」へ寄付を行った。

開催までに色々な問題や課題があったが、学生や保護者の方に楽しんで頂く事が出来た。

配信での開会式

各科作品展示・体験実習

（4）第 18 回学習成果プレゼン大会

各学科の学生が、これまでに習得した知識・技術を発表し、企業が求めるプレゼンテーションスキルを身に付ける機会とするとともに、他学科の専門分野の学習内容を聴くことにより、視野を広げ、理解する力を養うことを目的として、第 18 回学習成果プレゼン大会を以下のとおりの内容で開催した。

また、大会を盛り上げるため学生からポスターも募集した。本年度も、コロナウイルス感染防止の観点から、一部の招待客および卒年次生のみの入場制限を設けた。入場できなかった保護者をはじめ招待者には、現地からライブ配信を行う事で対応した。なお、在校生は教室から配信を閲覧した。

1）概要

① 内　容　：　各学科の代表者が、9 分という限られた発表時間の中で、聴衆を前に力強く学習成果を発表し競い合った。

② 日　時　：　令和 5 年 2 月 16 日（木）13:00～15:40

③ 場　所　：　アステールプラザ中ホール（オンラインによる同時配信）

④ 参加者　：　卒年次生、発表学生の保護者、学校関係者

配信案内　：　学生、保護者、招待者（企業、高校教員・高校生）、学園関係者、教職員

⑤ 発表者及び発表テーマ

発　表　者	内　容（テーマ）
電気工学科	ＥＶシフトと充放電用電気設備
情報学科	これからの IT 戦略販売 公開サーバーを活用したネットショップサイトの構築・運用
土木工学科	土木で活用するドローンについて学んだこと
音響・映像メディア学科	ラジオ番組制作し Night. ～広島のラジオ局をジャック～
IT スペシャリスト学科	地域連携プロジェクト ～プログラミング体験教室～
機械工学科	横移動もできる車椅子 ～特許に挑戦！～
建築学科	僕らの考えた開放感あふれる【before-after】

音響・映像メディア学科　学生作品上映　　１４:２０～１４:３０

2）審査員

審査委員長	毎日新聞社　　広島支局長　宇城　昇
審査員	広島工業大学　　名誉教授　玉野　和保 広島工業大学専門学校　校長　坂本　眞平

3）審査項目

審査は、以下の項目を評価して行われた。

評価分野	評価項目
1 発表主旨	目的の明確さ
2 テ ー マ	課題認識、仮説・検証の取組
3 資料作成	パワーポイント・映像の使い方と完成度
4 発表技術	発表態度、聞きやすさ、時間配分、興味・関心・分りやすさ
5 示　　唆	まとめ、将来への言及

4） 審査結果

賞	内　　容	学　　科
最 優 秀 賞	地域連携プロジェクト ～プログラミング体験教室～	IT スペシャリスト学科
優　秀　賞	ラジオ番組制作しNight. ～広島のラジオ局をジャック～	音響・映像メディア学科
審査員特別賞	ＥＶシフトと充放電用電気設備	電気工学科

最優秀賞は、学生たちが学び身につけたプログラミング技術を地域の子供たちに伝承するプロジェクト、ITスペシャリスト学科の「地域連携プロジェクト～プログラミング体験教室～」が選ばれた。学生が主体となって企画・運営を行った点が高評価であった。優秀賞は音響・映像メディア学科の「ラジオ番組制作しNight. ～広島のラジオ局をジャック～」が受賞した。また、今年は審査員特別賞として、電気工学科の「ＥＶシフトと充放電用電気設備」が選ばれた。惜しくも受賞を逃した学科も趣向を凝らした専門性の高い素晴らしい発表であった。

発表者の集合写真

プレゼン大会ポスター

5）成果と課題

各グループとも限られた時間の中で、分かりやすく魅力のあるプレゼンを行う為に創意工夫をした努力の跡が見られた。特に職業実践専門課程に認定された専門学校として、企業連携をはじめ地域との連携を行った実践的な課題への取組に関する発表が多く見られた事は大きな成果と言える。一方、コロナウイルス感染症の影響は収束に向かっているものの、感染防止の観点より本年度も入場制限を設け実施することとなった。次年度の運営に関しても考慮しておく必要がある。

（5）ボランティア活動

1）クリーン太田川清掃

太田川河川事務所主催のクリーン太田川清掃を 7 月 13 日(水)に予定していたが、新己斐橋東詰で工事を行っていた為、安全面を考慮し中止した。

2）グリーン・パートナー事業

グリーン・パートナー事業は、「花と緑のまちづくり」を進める広島市が主催するもので、平和大通り沿いの花壇に花苗の植付けや水やりなどを実施するボランティア活動である。１８年目の取り組みとなった。

本校の担当は西区役所前の花壇で、今年も春と秋に、花壇を耕して雑草を抜き、花の植え付けと肥料を撒いた。その後、各クラスで手分けをして水やりを行い、花壇の周辺の清掃も実施した。

近隣住民や地域への貢献として、学友会と連携して運営を行った。

春の花植え

秋の花植え

3）ボランティア駅伝前清掃

第 28 回全国男子駅伝「ひろしま男子駅伝」を前に、学生と教職員・約 450 名が参加して、駅伝コースのボランティア清掃を行った。

新型コロナの影響で、3 年振りの駅伝大会なので、ボランティア清掃も 3 年振りの開催となる。

今年は雨の心配もあったが、曇りで冷たい風が吹く中、学生は頑張って清掃してくれた。清掃後、集まったゴミの量は、可燃ゴミ９袋、不燃ゴミ６袋、資源ゴミ４袋の、合計 19 袋だった。

今年のゴミは、たばこの吸い殻も多かったが、ペットボトルより缶(古い缶)が多い感じで、3 年振りの清掃で古い缶が集まった感じだった。

ひろしま男子駅伝には、全国 47 都道府県から総勢 470 人の選手がエントリーされ、中学生・高校生をはじめ社会人のトップランナーが参加した。

清掃風景

ゴミの仕分け完了後

４－３．社会人教育への取組み

生涯学習の観点から社会人（主には、母子寡婦、雇用能力開発機構、高等学校、専修学校及び企業等）を対象とした専門的な職業教育を展開している。

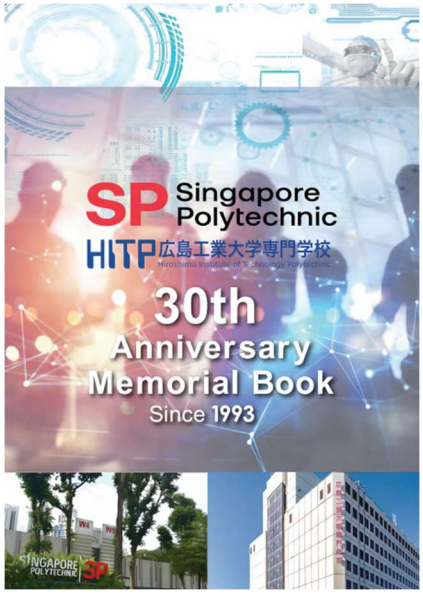
技術支援センター（過去実績）

年度		講習会名等	開催日	人数	主催者名
H26	1	（夜）広島市母子寡婦（1 期）	H26.5.13～7.18	20	広島市こども未来局 こども・家庭支援課
	2	（夜）広島市母子寡婦（2 期）	H26.10.7～12.12	10	広島市こども未来局 こども・家庭支援課
	3	平成 26 年度基礎教育講習会講師派遣	H26.12.2		（社）広島県専修学校各種学校連盟
	4	指導者用情報処理技術者指導講座	H26.12.24～12.26 H27.2.19,2.20	3	広島市教育委員会
H27	1	（夜）広島市母子寡婦	H27.5.8～H27.7.14	9	広島市こども未来局 こども・家庭支援課
	2	平成 27 年度基礎教育講習会講師派遣	H27.12.7		（社）広島県専修学校各種学校連盟
H28	1	指導者用 Web サイト構築講座 →H27 年度に実施（H28 年度の収入）	H28.2.22,24,3.2,15,23	4	広島市教育委員会
	2	測量数学の基礎を学ぶ研修会	H28.7.27,7.28		技術マネジメント研究所
	3	平成 28 年度基礎教育講習会講師派遣	H28.12.6		（社）広島県専修学校各種学校連盟
	4	（夜）広島市母子寡婦	H29.1.10～3.17	9	広島市こども未来局 こども・家庭支援課
	5	指導者用 Web サイト構築講座	H29.2.17,21,22,24,28	2	広島市教育委員会
H29	1	平成 29 年度基礎教育講習会講師派遣	H29.12.5		（社）広島県専修学校各種学校連盟
	2	指導者用アプリ開発講座	H29.12.19,25,H30.2.13,16,20,21	2	広島市教育委員会
H30	1	（夜）広島市母子寡婦	H30.10.3～H30.12.12	5	広島市こども未来局 こども・家庭支援課
	2	平成 30 年度基礎教育講習会講師派遣	H30.12.4	60	（社）広島県専修学校各種学校連盟
	3	指導者用セキュリティマネジメント講座	H31.2.5	2	広島市教育委員会
R2	1	指導者用アプリ開発講座	R2.12.24, R3.2.22, 24, R3.3.2～3	2	広島市教育委員会
	2	指導者用 Web サイト構築講座	R3.3.24～25	2	広島市教育委員会
R4	1	指導者用アプリ開発講座	R5.2.20～22,3.13～16	2	広島市教育委員会
	2	指導者用 Web デザイン講座	R5.2.20～22,3.6～7	2	広島市教育委員会

４－４．国際交流の状況

今年度は 30 周年記念誌の制作を行った。

（1）　冊子の紹介（抜粋）



表紙デザイン
制作：IT スペシャリスト学科 3 年学生

SP　校長兼最高経営責任者
ソー・ワイワー　先生

鶴 学 園　鶴　　衛　理事長
専門学校　坂本　眞平　校長

SP の国際交流担当の先生
（上）DVID LEE　デビッド・リー
（下）SALLY LIM　サリー・リム

30 周年記念に協力いただいた先生方

2006 年度の交流風景	2021 年度のオンライン交流風景	広島シンガポール協会交流 広島信用金庫への表敬訪問

（2） 専門学校のホームページで 30 周年記念誌の全頁を紹介
ホームページカテゴリ《海外研修について》
https://www.hitp.ac.jp/contents2020/school/kaigai.html

（3）参加学生数と取組み
過去 5 年間(平成 30 年度～令和 4 年度)

	シンガポール研修旅行 本校→シンガポール	日本理解ツアー シンガポール→本校	海外インターンシップ 本校→シンガポール	短期留学 本校→SP 校	ベトナム研修旅行 本校→ベトナム
平成 30 年度	9	12	0	0	0
令和元年度	9	12	0	0	0
令和 2 年度	HITP 9 名＋ 英語受講学生	SP 12 名	オンラインによる文化交流		
令和 3 年度	HITP 12 名＋ 英語受講学生	SP 12 名	オンラインによる文化交流		
令和 4 年度	30 周年記念誌制作	制作に尽力いただいた卒業生 ・HITP 卒業生（現専門学校教員）門田 香 先生 ・SP 卒業生 李詩敏 LEE SZE BIM （リー・ツー・ビン）			

４－５．クラブ活動

（1） 軟式野球部

「広島県専門学校野球連盟」に加盟しており、春・夏・秋の各大会での優勝と全国大会出場を目標に、練習を行っている。モットーは「飽くなき挑戦」。常に目標を持ち、諦めることなく挑戦し続ける姿勢を、野球に限らず資格取得や技術・知識の習得に活かすべく活動している。

〔令和４年度の公式大会結果〕
春季大会：準優勝
中国地区大会（全国大会予選）：１回戦敗退
秋季大会：１回戦敗退

顧問：小笠原　和教・林　哲也

４－６．防犯講習会

「犯罪の被害者にならない」-女性を対象とする多くの犯罪が発生している。このような犯罪に巻きもまれないために１年生の女子学生を対象として広島県警の協力により「防犯講習会」を５月に開催した。

1）概要
① 内　容　：　女性を対象とした犯罪から身を守る為の防犯講習会
② 日　時　：　令和４年５月 25 日（水）13:40～14:40
③ 場　所　：　プレゼンテーションルームＡ
④ 参加者　：　女子学生　１年生

第５章　進路指導

５－１　令和４年度就職状況（令和５年３月末現在）

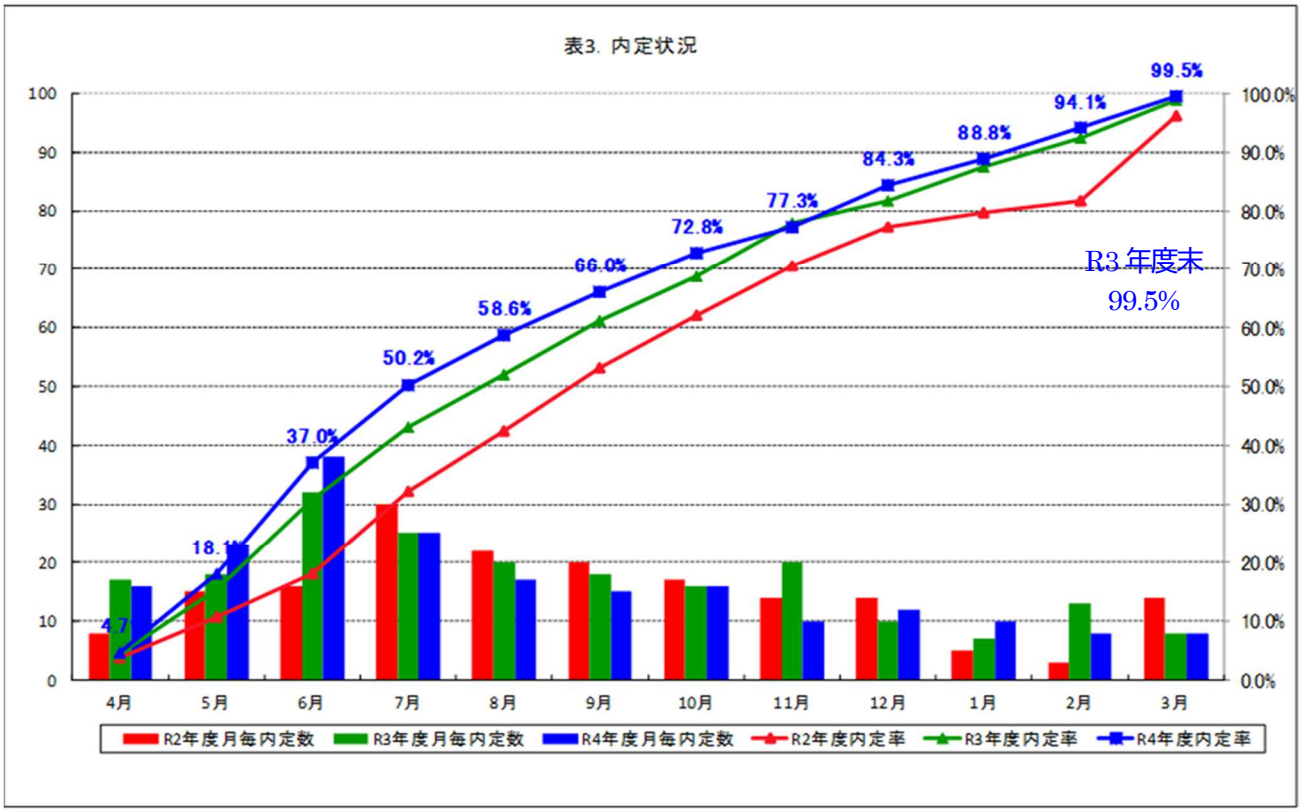
（１）県内の就職内定状況

広島県内の専修学校就職内定率は、平成 30 年度が 96.7%、令和元年度が 95.0%、令和２年度が 93.1%、令和３年度が 92.9%、令和４年度が 95.3%（対前年比 2.4 ポイント上昇）とコロナ禍の影響で低下し続けた就職内定状況もようやく回復傾向が見られ始めた。これに対し大学（96.1%、0.7%上昇）、短期大学(97.7%、0.9%低下)については、昨年度とほぼ同程度の状況であった。

（２）本校就職内定率の推移

就職内定率の月別推移は以下のとおりである。令和４年度の求人数は、前年度と比べ求人企業数は大幅に増加したが、求人数においては昨年度とほぼ同数であった。内定率では前年比 0.5 ポイント増の 99.5%(就職希望者 206 名中内定者 205 名)となり、ここ３年間で最も高い数値となった。前年度はコロナ感染症拡大のため就職活動に多方面にわたり影響をもたらしたが、今年度は同じコロナ禍であっても感染対策がある程度標準化され、学生側、企業側ともにそれぞれの対応が適切に行われる環境が整ったことなどがあげられる。また企業側において若い人材を確保しようとする動きが引き続き強かったこともあるのではないか。

令和２年度～令和４年度内定状況



（３）求人状況

令和４年度の本校学生を対象とする求人社数は 1,105 社、求人数は 2,321 名(前年度実績 1,039 社、2,320 名)となっており、企業数で 66 社、求人数で１名の増加となった。また、就職希望者 206 名に対する求人倍率は 12.48 倍(前年度 11.26 倍)で、前年比 1.22 ポイントの増加となり、いまだ継続しているコロナ禍の中ではあるが順調な傾向がみられる。詳細は以下のとおりである。

令和２年度～令和４年度求人状況

(1)令和2年度～令和4年度　求人数状況累計　（単位：人）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
R2年度求人数	累積数	1821	1901	2018	2126	2170	2213	2246	2291	2303	2320	2330	2332
	（月別数）	（1821）	（80）	（117）	（108）	（44）	（43）	（33）	（45）	（12）	（17）	（10）	（2）
R3年度求人数	累積数	1781	1927	2041	2146	2192	2241	2273	2298	2312	2319	2320	2320
	（月別数）	（1781）	（146）	（114）	（105）	（46）	（49）	（32）	（25）	（14）	（7）	（1）	
R4年度求人数	累積数	1740	1917	2041	2146	2198	2246	2272	2287	2306	2319	2321	2321
	（月別数）	（1740）	（177）	（124）	（105）	（52）	（48）	（26）	（15）	（19）	（13）	（2）	

(2)令和2年度～令和4年度　求人企業状況累計　（単位：社）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
R2年度企業数	累積数	832	872	933	985	1009	1038	1056	1078	1085	1093	1097	1099
	（月別数）	（832）	（40）	（61）	（52）	（24）	（29）	（18）	（22）	（7）	（8）	（4）	（2）
R3年度企業数	累積数	771	826	878	931	953	981	999	1014	1033	1038	1039	1039
	（月別数）	（771）	（55）	（52）	（53）	（22）	（28）	（18）	（15）	（19）	（5）	（1）	
R4年度企業数	累積数	801	890	957	1008	1037	1059	1076	1086	1097	1104	1105	1105
	（月別数）	（801）	（89）	（67）	（51）	（29）	（22）	（17）	（10）	（11）	（7）	（1）	

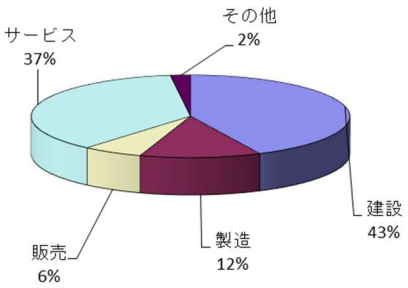
令和４年度学科別求人倍率・就職率および進路状況

(2)令和4年度　進路状況(R5年3月31日)(　)内女子数

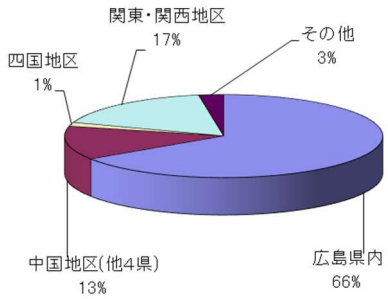
内訳＼学科	建築		建築士専攻科		土木		電気		機械		ITスペシャリスト		情報		音響・映像メディア		不問	R5年3月31日	
求人数	467				395		353		363		305				88		350	2321	
卒業者	79	(11)	34	(4)	31	(1)	33	(1)	21	(0)	30	(0)	13	(0)	33	(11)		261	(28)
就職希望者	35	(4)	32	(4)	26	(1)	28	(1)	20	(0)	15	(0)	13	(0)	30	(11)		186	(21)
求人倍率	6.97				15.19		12.61		18.15		10.89				2.93			12.48	
就職者数	35	(4)	32	(4)	26	(1)	28	(1)	20	(0)	15	(0)	13	(0)	29	(11)		185	(21)
学科別就職率	100.0%		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%		96.7%			99.5%	
（男子）%	100.0%		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%		94.7%			99.4%	
（女子）%	100.0%		100.0%		100.0%										100.0%			100.0%	
進学者数	37	(5)	1	(0)	3	(0)	3	(0)	1	(0)	1	(0)			0	(0)		46	(5)

業種別の内定内訳は、建築関係 43%、製造 12%、販売６%、サービス関係 37%、その他２%となっている。
地区別の内定内訳は、広島県内 66%、広島県を除く中国地区 7%、四国地方 2%、関西・関東地区 17%、その他 4%となっている。

内定業種別内訳



内定地区別内訳



(4)まとめ

前年度まで就職戦線に影響を及ぼしていた新型コロナ感染も行動制限の解除等の緩和がはかられ、学生のスムーズな動きにより企業選定が活発になると共に、オンライン併用による企業説明会や選考会など企業側の積極的な人材確保も相まって、昨年度以上に早い段階から内定を獲得するに至った。

最終的に内定率は99.５%と前年度を0.5ポイント上回ることができ、コロナ禍前の令和１年度実績98.9%を上回る内定者を送り出すことができた。広島労働局が公表している令和５年３月卒業生の就職内定率の専修学校部門 95.3%をも大きく上回った結果となり、これからはしばらくの間は技術職を求める企業の求人は増加が続くものと思われるが、学生がより適切な職業選択ができる環境が提供できるよう支援を継続していきたい。

５－２　進学状況

（１）　大学編入学の状況

編入学先	人数	所属学科
広島工業大学　工学部　建築工学科	４名	建築学科
広島工業大学　工学部　環境土木工学科	３名	土木工学科
広島工業大学　工学部　機械システム工学科	１名	機械工学科
広島工業大学　工学部　電気システム工学科	２名	電気工学科
広島工業大学 情報学部 情報工学科	１名	IT スペシャリスト学科
合　　計	11名	

（２）大学編入学のスケジュール

実施日	内容
４月４日（火）	１年生向け編入学説明会　12:40～　参加者51人
７月１日（金）	学内推薦一次面接試験　受験者11人
９月12日（月） ～９月30日（木）	単位認定事前審査資料提出　受験者11名
10月28日（金）	学内推薦二次面接試験　受験者11人
11月26日（土） ～12月７日（水）	インターネット出願　受験者11名
12月17日（土）	広島工業大学編入学面接試験
12月24日（土）	合格発表　合格者11人
２月21日（月）	情報交換会　在学生11人、編入学OB　９人

第６章　職業実践専門課程の認定に係る取組み

６－１　職業実践専門課程の認定状況

『職業実践専門課程』とは

企業等との密接な連携により、実務の知識等を身につけられるよう教育課程を編成し、より実践的な職業教育の質の確保に組織的に取り組んでいる専門課程について文部科学大臣が認定するものである。

平成 26 年 3 月 31 日、初めての認定が行われ、当初は全国で 472 校　1, 373 学科の「職業実践専門課程」が誕生した。広島県では 16 校 40 学科が認定され、本校では 7 学科すべてが認定を受けた。

（令和 5 年 3 月 27 日現在　文部科学省発表）

認定年度	認定学校数	認定学科数
H25 年度	472	1,373
H26 年度	295	677
H27 年度	272	501
H28 年度	150	240
H29 年度	94	152
H30 年度	98	139
R1 年度	104	154
R2 年度	86	131
R3 年度	62	88
R4 年度	66	87
合計	1,093 校(40.2%)	3,165 学科(43.4%)

※合計欄の（ ）内の数字は、全専門学校数（2,721 校）、修業年限２年以上の全学科数（7,288 学科）に占める割合。なお、各年度の学校数、学科数は、文部科学省の報告によるもので、名称変更、取消等により単純合計となっていない。

【分野別】

分野	工業	農業	医療	衛生	教育 社会福祉	商業 実務	服飾 家政	文化 教養	計
合計	673 (51.8%)	17 (11.6%)	615 (34.9%)	339 (36.1%)	265 (45.3%)	533 (39.3%)	117 (23.9%)	606 (28.8%)	3,165

■認定要件

① 業年限が 2 年以上
② 総授業時間数が 1, 700 時間（総単位数 62 単位）以上
③ 企業と連携し教育課程の検討と改善を行うこと
④ 企業と連携し演習・実習等を行うこと
⑤ 企業と連携し教員の実務研修を行うこと
⑥ 企業と連携し学校関係者評価および情報公開を行うこと

６－２　教育課程編成委員会

(1) 第１回教育課程編成委員会

部会	実施日	連携企業等	役職	氏名
建築部会	令和４年 ６月 24 日	株式会社タナカ住建	代表取締役	田　中　健太郎
		広島工業大学 環境学部 建築デザイン学科	教授	平　田　欽　也
電気部会	令和４年 ６月８日	一般財団法人　中国電気保安協会	総合技術センター　副部長	豊　島　義　信
		株式会社電力サポート中国	設備サービス部部長	松　永　和　幸
		満長建設工業株式会社	相談役	佐々木　隆　雄
機械部会	令和４年 ５月 25 日	テンパール工業株式会社	技術本部広島大洲工場長	田　中　康　平
		広島工業大学工学部機械システム工学科	教授	鈴　村　文　寛
土木部会	令和４年 ６月 17 日	広島工業大学工学部環境土木工学科	准教授	大　東　延　幸
		株式会社ＹＳＧコンサルタント	代表取締役	安　田　祐　司
情報部会	令和４年 ６月 10 日	広島県情報産業協会	理事	松　尾　達　憲
		株式会社リマック	代表取締役社長	田　淵　信　夫
		株式会社ＥＣＳ	顧問	中　元　正　彦
音響・映像部会	令和４年 ６月１日	公益社団法人日本照明家協会　中国支部	事務局長	吉　川　　滋
		株式会社　ＳＨＩＮＯＭＯＴＯ－ＳＥ	代表取締役社長	山　田　雅　宏

(2) 第２回教育課程編成員会

部会	実施日	連携企業等	役職	氏名
建築部会	令和５年 ２月 27 日	株式会社タナカ住建	代表取締役	田　中　健太郎
		広島工業大学 環境学部 建築デザイン学科	教授	平　田　欽　也
電気部会	令和５年 ２月８日	一般財団法人　中国電気保安協会	総合技術センター　副部長	豊　島　義　信
		株式会社電力サポート中国	設備サービス部部長	松　永　和　幸
		満長建設工業株式会社	相談役	佐々木　隆　雄
機械部会	令和５年 ２月 14 日	テンパール工業株式会社	技術本部広島大洲工場長	田　中　康　平
		広島工業大学工学部機械システム工学科	教授	鈴　村　文　寛
土木部会	令和５年 ２月 17 日	広島工業大学工学部環境土木工学科	准教授	大　東　延　幸
		株式会社ＹＳＧコンサルタント	代表取締役	安　田　祐　司
情報部会	令和５年 １月 24 日	広島県情報産業協会	理事	松　尾　達　憲
		株式会社リマック	代表取締役社長	田　淵　信　夫
		株式会社ＥＣＳ	代表取締役社長	民　野　昌　幸
音響・映像部会	令和５年 ２月１日	公益社団法人日本照明家協会　中国支部	事務局長	吉　川　　滋
		株式会社　ＳＨＩＮＯＭＯＴＯ－ＳＥ	代表取締役社長	山　田　雅　宏

６－３　学校関係者評価委員会

（1）第１回学校関係者評価委員会

日時：令和４年９月７日（水）

場所：広島工業大学専門学校　オンライン及び対面（プレゼンテーションルーム）

※広島県の緊急事態宣言（8 月 27 日～9 月 30 日）に伴いオンライン併用

委員

高等学校	学校法人鶴学園　広島工業大学高等学校	校　長	山口　健治
業界団体	一般社団法人広島県情報産業協会	理事	松尾　達憲
業界団体	公益財団法人　日本照明家協会中国支部	事務局長	吉川　滋
企業	テンパール工業株式会社	技術本部広島大洲工場長	田中　康平
企業地域	河井建設工業株式会社	取締役社長代行	宮内　秀実
卒業生	広島工業大学専門学校同窓会	会　長	大畠　晋也

（2）第２回学校関係者評価委員会

日時：令和５年３月 15 日（水）15:00～17:00

場所：広島工業大学専門学校　プレゼンテーションルーム

委員

高等学校	学校法人鶴学園　広島工業大学高等学校	校　長	山口　健治
業界団体	一般社団法人広島県情報産業協会	理事	松尾　達憲
業界団体	公益財団法人　日本照明家協会中国支部	事務局長	吉川　滋
企業	テンパール工業株式会社	技術本部広島大洲工場長	田中　康平
企業地域	河井建設工業株式会社	取締役社長代行	宮内　秀実
卒業生	広島工業大学専門学校同窓会	会　長	大畠　晋也

６－４　企業連携授業

(1) 企業連携授業

各学科では企業と連携し実践的な授業の展開に努めた。

学科名	学年	授業科目	主な内容	連携授業
建築学科	1年	建築製図Ⅰ 建築製図Ⅱ	実習：設計製図の基本を学び，木造住宅の設計技法を習得	株式会社アトリエドリーム
機械工学科	2年	実践課題ゼミナールⅠ 実践課題ゼミナールⅡ	実習：企業等から与えられた要望に対しアイデアの起案、設計から加工まで課題解決能力の習得	共立工業株式会社 社会福祉法人三篠会
IT スペシャリスト学科	3年	システム開発実践	実習：クラウド型システム開発ツールである「Salesforce」を使ったシステム開発を実施	株式会社ＥＣＳ
IT スペシャリスト学科	2年	セキュリティ演習	実習：攻撃対象となる実習用サーバを構築し、各種サーバ攻撃やセキュリティリスクに対する対処方法を学ぶ。	株式会社ネットスクエア
IT スペシャリスト学科・情報学科	2年	ビジネスプランニング	講義：ICT を活用したビジネスアイデアを考え，ビジネスモデルとしてまとめ発表を行う	HiBiS
情報学科	2年	総合実践	講義・演習：ネットショップサイトの構築についてシステム開発の進め方や企画書の作成法を学ぶ	株式会社リマック
電気工学科	1年	送配電工学	講義：電力ケーブルⅠ・Ⅱ 電力ケーブルの基礎知識および実務内容の習得	満長建設工業(株)
	1年	電気工事実習Ⅱ	実習：光ケーブルの接続技術の習得	下花建設工業(株)
			実習：電気設備点検と安全模擬体験	(一財)中国電気保安協会
	2年	電気工事実習Ⅳ	実習：安全体感実習	㈱中電工
土木工学科	2年	土木 CAD Ⅰ 土木 CAD Ⅱ	実習：CAD 知識の習得	OGI infotec 株式会社
	2年	応用測量Ⅲ	実習：ドローンに関する操縦技術取得	OGI infotec 株式会社
	2年	安全運航管理	実習：ドローンの安全運航管理を学習	ロイヤルコーポレーション
	1年	UAV 基礎	講義：ドローン関する基礎知識の習得 講義：ドローンに関する資格取得	ドローン航空学校
	2年	UAV 操縦法	実習：ドローンに関する操縦技術取得	ドローン航空学校
音響・映像メディア学科	1年 2年	コンサート実習Ⅰ コンサート実習Ⅱ	実習：授業内容のまとめとして実践的なコンサート実習（音響・映像・照明・制作）を実施する。	有限会社アーティス 株式会社Ｍｏｖｅｕｐ

６－５　研修

（１）教職員夏季研修会

例年、学生の夏季休暇期間を利用し、教員および職員が一堂に会し研修会を行っている。また、職業実践専門課程認定から９年目を迎え、より一層の教育の質保証が求められており、学科・部単位での研修会は、対面もしくはオンラインによる形式で随時実施した。

（２）教員の専門分野に関する研修

対象	研　修　名　称	主　催	研修時期	研修目的・概要
建築教員	JIA セミナー「私たちの設計について」	公益社団法人日本建築家協会中国支部	令和４年４月 15 日	【研修目的・概要】建築家の西国由希子氏と大永祥太氏が手掛けられた建築物を基に、周辺環境との調合や内装素材、光の取り込み方等の説明がなされる。 【講師】西国由希子、大永祥太（いずれも設計事務所代表） 【対象科目】授業全般
教員	Conference X in 広島 2022 ～DX 化の取組み事例講演会～（オンライン）	中国経済連合会 株式会社 INDUSTRIAL-X	令和４年４月 27 日	【研修目的・概要】近年の DX 化に伴いビジネスモデルが著しく変革している。こうした新技術を一早く導入した、企業の取組事例を調査する為、研修会へ参加した。 【講師】株式会社山本金属製作所 代表取締役社長　山本 憲吾 他 【対象科目】ものづくり概論　機械加工学　授業全般
土木教員	ドローン機体登録に関する講習会	ファームスカイテクノロジーズ他	令和４年４月 28 日	【研修目的・概要】法人におけるドローンの機体登録に関しての方法と申請状況について国土交通省検討委員を講師に招き現状を受講した。 【講師】ファームスカイテクノロジーズ他 【対象科目】ドローン科目全般
土木教員	応用技能講習	ドローン航空学校	令和４年５月 13 日	【研修目的・概要】本校におけるドローンの目視外飛行資格の導入にため、指導員が無資格では教えることができないため、 【講師】我妻謙次 【対象科目】ドローン科目全般
建築教員	「これからの建築とインテリア」	CouragePlus	令和４年６月 17 日	【研修目的・概要】これからのモダニズム建築について、ハイエンド住宅やホテルを例に説明がなされる。 【講師】エーディコア・ディバイス代表取締役社長　瀬戸　昇 【対象科目】授業全般
電気教員	第 7 回若年者ものづくり大会（電気工事）の事前準備と競技の見学	厚生労働省 中央職業能力開発協会	令和４年７月 27 日～28 日	【研修目的・概要】電気工事実習の理解を深め本校実習上にて協議課題を完成させ、作品展示、実習に活用する。 【講師】技術委員、技能５輪経験者 【対象科目】電気工事実習
音映教員	音声コンテンツの企画から配信までについて	ゼペットスタジオ	令和４年８月９日	【研修目的・概要】 音声コンテンツの制作およびＳＮＳなどによる配信を行う場合、制作や配信に必要となる機器やアプリ等についての現状と課題について研修し、授業で活用する。 【講師】ゼペットスタジオ　吉田 孝平 【対象科目】ラジオ番組制作、デジタルサウンド
土木教員	安芸バイパス久井原トンネル外舗装現場研修	株式会社鴻治組	令和４年８月 26 日	【研修目的・概要】コンクリート舗装のスリップフォーム工法について研鑽を積むため 【講師】株式会社鴻治組 【対象科目】コンクリート工学
電気教員	電気主任技術者 技術研修会	（公社）日本電気技術者協会	令和４年８月 29 日	【研修目的・概要】電力関連の最近の動向（電気保安行政・電気事故概要・新技術事例）を習得し、施設管理等の授業に活用する。 【講師】中国四国産業保安監督部、（一財）中国電気保安協会、富士電機㈱ 【対象科目】授業全般
電気教員	防府バイオマス石炭混焼発電所見学	（公社）日本電気技術者協会中国支社	令和４年９月 14 日	【研修目的・概要】バイオマスによる温暖効果ガス排出カーボンニュートラルによる抑制効果ならびに冷却塔循環冷却方式を採用による温排水の排出防止状況の見学 【講師】エア・ウォーター＆ア・パワー山口株式会社　技術者 【対象科目】電気施設管理

土木 教員	DJI AGRAS 機体更新研修	ファームスカイテクノロジーズ	令和4年 11月5日	【研修目的・概要】UTC 資格更新で DJIAGRAS に変更となり、資格更新および研修 【講師】ファームスカイテクノロジーズ 【対象科目】ドローン科目全般
機械 教員	広島県立総合技術研究所西部工業技術センター保有技術紹介セミナー （オンライン）	広島県立総合技術研究所	令和4年 11月18日	【研修目的・概要】最新技術の動向調査を行い、専門分野の技術の拡充を図るため、セミナーに参加し、西部工業技術センターの研究成果や保有技術への理解を深めた。 【講師】西部工業技術センター　丸本　翼　他 【対象科目】ものづくり概論　実践課題ゼミナール
電気 教員	EV 充電設備研修会	パナソニック㈱ ㈱高野電気商会	令和4年 11月24日	【研修目的・概要】学習成果プレゼン大会の準備として EV 充電設備の実際について理解を深める 【講師】メーカー技術者、施工技術者 【対象科目】電気実習
土木 教員	無人航空機操縦士二等学科	日本海事協会（登録試験管理団体）	令和4年 12月28日	【研修目的・概要】無人航空機操縦士指導資格に二等資格が必要となるため、試験を受験した。 【講師】日本海事協会 【対象科目】ドローン科目全般
情報 教員	攻めのプログラミング～社会人と共に学ぶET ロボコンとは～	株式会社アフレル	令和5年 1月19日	【研修目的・概要】新学習指導要領において情報教育の充実が提唱され、学校の ICT 環境整備や ICT を活用した学習活動の充実、小・中・高を通してプログラミング教育を充実していくことなどが計画されている。小中高でプログラミングを学んできた学生に、どのような授業を展開すればよいか，ロボットコンテストを活用した実例の紹介と指導法を学ぶ。 【講師】シフトシステム株式会社　亀田 健司 氏 【対象科目】IoT デバイス演習，AI プログラミング，システム開発実践
建築 教員	クリエイティブジョイントセミナー「近作について」	公益社団法人日本建築家協会中国支部、大光電機株式会社	令和5年 2月1日	【研修目的・概要】建築家の西沢立衛氏による近作を例にした建築物の説明。空間の余白や内と外のつながりについて説明がなされる。 【講師】西沢立衛建築設計事務所　西沢立衛 【対象科目】授業全般
土木 教員	国家資格検定コース設営研修	ドローン航空学校	令和5年 2月10日	【研修目的・概要】国家資格検定コース設営に関する指導に関しての研修を行った。 【講師】我妻謙次 【対象科目】ドローン科目全般
土木 教員	無人航空機操縦士二等資格指導員研修	ドローン検定協会（登録講習団体）	令和5年 2月25日	【研修目的・概要】登録講習団体での無人航空機操縦士指導資格に関する研修。 【講師】ドローン検定協会　風間、石橋、前田 【対象科目】ドローン科目全般

（3）教員の指導力の修得・向上のための研修

対象	研　修　名　称	主　催	研修時期	研修目的・概要
教員	夏季教職員研修会 ～インターンシップの参加促進に係る研修会～	広島工業大学専門学校	令和４年 ８月18日	【研修目的・概要】職業観の育成が主であったインターンシップもここ数年で就職活動の一環としての位置付けへ企業の考え方が移行してきている。今後のインターンシップの形態について、官学で情報を共有し推進にあたる。 【講師】 広島県商工労働局雇用労働政策課　雇用促進グループリーダー 平野　恵子 【対象科目】授業全般　就職指導
教員	普通救命講習	広島市救急教育センター	令和４年 ８月18日	【研修目的・概要】学生の命を守るため、緊急時に備え、心肺蘇生法やAED（自動体外式除細動器）の使用方法、止血方法など応急手当の知識・技術を学ぶ機会とする為、講習会に参加した。 【講師】消防署　救急隊員 【対象科目】学校業務全般　生き方講座
教員	職業実践専門課程の充実に向けた自己点検・評価に関するセミナー	一般財団法人職業教育キャリア教育財団　評価・認証事業運営委員	令和４年 10月７日	【研修目的・概要】専修学校の質保証・向上を目的に、各校が主体性をもって進める活動を支援・促進する為、自己点検・評価標準モデルの開発及び第三者評価スタンダード認証モデルの開発が進められている。本モデルに関し情報を得て、今後の評価体制の整備に資する為、参加した。 【講師】JAMOTE 認証サービス株式会社　代表取締役社長　八木信幸 【対象科目】学校業務全般
教員	令和４年度広島県私立学校振興大会・研修会「こんなときどうする？私立学校に求められるトラブル対応の知恵」	公益社団法人広島県専修学校各種学校連盟他	令和４年 11月２日	【研修目的・概要】近年のコロナ禍におけるトラブル事例をはじめ、保護者と学校との関係など、弁護士の観点から学校で起こり得る問題について、分かりやすい事例紹介とともにその対応方法について講演が行われた。今後の学校運営や学生指導に活かしていく。 【講師】弁護士　堀切　忠和（東京弁護士会所属） 【対象科目】学校業務全般
情報 教員	メンタル面に問題を抱えている学生への対応・指導について（オンライン）	全国専門学校情報教育協会	令和４年 12月15日	【研修目的・概要】 メンタル面に問題を抱えている学生への対応・指導についてのノウハウや情報の共有を図り，専門学校教育に活用する。 【講師】 大阪工業技術専門学校　事務部長 浜野 哲二 氏 東北電子専門学校　教育部長 種田 裕一 氏 【対象科目】学校業務全般　生き方講座
教員	情報セキュリティ研修（オンライン）	鶴学園	令和４年 １月17日～ １月31日	【研修目的・概要】組織（学校）における情報セキュリティの重要性と仕組みなどを十分理解し、日常業務などにおいても常に実践できるようにする 【講師】株式会社ネットスクエア　　村上　賢二 【対象科目】学校業務全般　生き方講座

追　記　　新型コロナウイルス感染症ならびにウクライナ情勢による影響

1　概要

令和４年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の波が繰り返される中、ロシアによるウクライナ侵攻を契機とした原材料やエネルギー等の価格高騰に円安の進行が拍車をかけ、経済に大きな影響を及ぼした。日本へ感染が拡大して４年目を迎える新型コロナウイルスは、オミクロン株 BA.5 系統への置き換わりによりピーク時の感染者数が過去最大となった第７波、更に 10 月下旬には第８波を経験したものの、可能な限り行動制限を行わない国の方針に国民も同調し医療機関の大きな混乱もなくピークアウトをむかえた。その後、年度を跨いで新型コロナウイルス感染症は５類感染症へと位置付けが変わることとなる。依然として感染者は発生しており、警戒が必要な状況ではあるが、少しずつ平時に向かいウィズアフターコロナを見据えた社会経済の動きは確実に進み始めている。

学校においては、令和４年度も手指消毒の徹底、マスクの常時着用、日々の健康観察など出来る限りの感染対策を講じ運営を行った。また、学生をはじめ教職員の日常生活においても注意喚起を行うとともに、濃厚接触者ならびに陽性者への対応も徹底して行われた。行事においても感染予防の観点から、入学式、卒業式に関しては、来場者の制限、時間短縮、オープンキャンパスや会議に関しては、オンラインによる対応を続けることとなった。そのような中においても体育祭、ドリーマーコンサートの開催等、学校生活においても少しずつ回復の兆しが見える１年となった。

令和４年度は、コロナ関連に加え、ウクライナの情勢に関するニュースが絶えることなく報道され、世界情勢が混沌とした状況であった。明るい兆しとして、令和５年度に広島で G7 サミットが開催される事が決まり、早期に平和な世の中がむかえられるよう期待してやまない。

2　2022 年度の主な年間行事と変更点

4 月　2 日	入学式	保護者入場制限あり。10 時開式
4 月　4 日	始業式	９F ホールにて短縮版で実施
4 月 5~7 日	オリゼミ	初日は学校で実施、2 日目は沼田校舎で実施。宿泊無し。
5 月　25 日	教育課程編成委員会	オンライン（M:5/25 OE:6/1 D:6/8 J:6/10 S:6/17 K:6/24）
5 月　28 日	オープンキャンパス	本年は全て対面実施。但し、学校説明は各教室でオンライン。
6 月　16 日	体育祭	グリーンアリーナにて短縮開催
7 月　8 日	ドリーマーコンサート	アステールプラザ中ホールにて実施
8 月　1 日	軟式野球部　夏季大会	夏季大会の実施・参加（広島総合グランド）
9 月　7 日	学校関係者評価委員会	オンライン及び対面（プレゼンテーションルーム）
10 月　12 日	避難訓練	地震・火災発生の防災訓練（一斉実施）
10 月　15 日	軟式野球部　秋季大会	秋季大会の実施・参加（しまなみ球場）
11 月　26 日	専門祭	来場者を保護者・家族のみとし実施
1 月　24 日	教育課程編成委員会	オンライン（J:1/24 OE:2/1 D:2/88 M:2/14 S:2/17 K:2/27）
2 月　16 日	学習成果プレゼン大会	関係者のみ現地（アステール中ホール）、オンライン中継で発信
3 月　11 日	卒業式	保護者入場制限あり。9:30 集合 10:30 開式
3 月　15 日	学校関係者評価委員会	対面（プレゼンテーションルーム）

付録-1　専門祭プログラム

HITP 広島工業大学専門学校
Hiroshima Institute of Technology Polytechnic
〒733-8533　広島市西区横川2丁目1-1　082-295-5111
https://www.hitp.ac.jp
kouhou@hitp.ac.jp

専門祭における募金・模擬店の利益は、全額「日本赤十字広島県支部」に寄付いたします。

プログラム

9:30-　開会式 配信
クラス PR タイム 配信

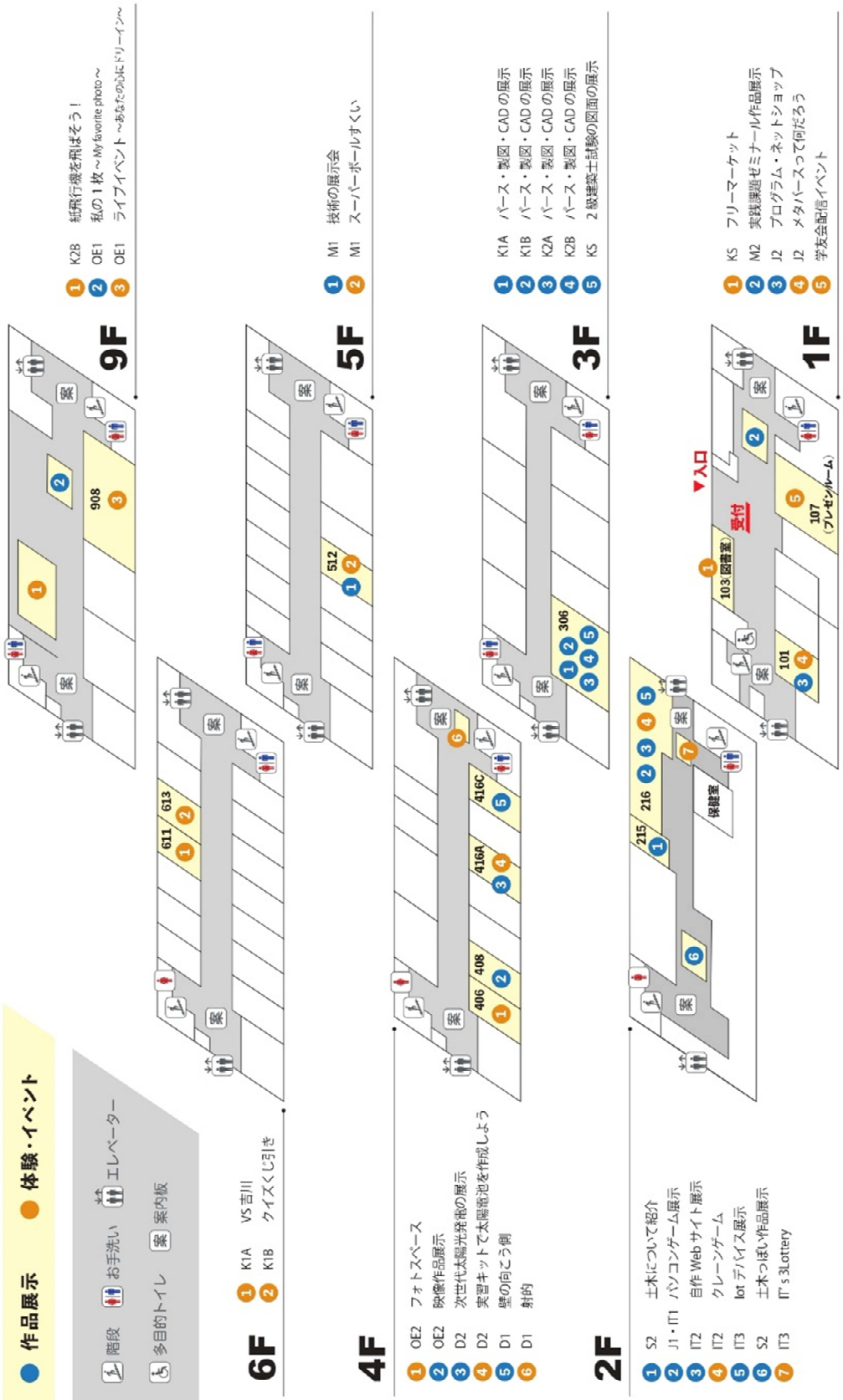
11:00-13:00　B1F 食堂オープン

13:00-　学友会イベント 配信

13:45-　閉会式 配信

※配信プログラムは 1F ロビー、
各教室のモニターにてご覧いただけます。

令和4年度 HITP専門祭フロアマップ



編　集：広島工業大学専門学校　教育部
発行人：校長　坂本　眞平
住　所：〒733-8533　広島県広島市西区福島町 2-1-1
ＴＥＬ：082-295-5111
ＦＡＸ：082-293-8220
ＵＲＬ：https://www.hitp.ac.jp